

日本の食料基地として

本県は、
 温暖な気候や
 平地から山間地に至る変化に富んだ地形、
 豊かな大地、
 きれいな空気や水といった
 優れた資源を活かし、
 早期水稲や畜産、
 施設園芸を中心に、
 付加価値の高い農業を展開しています。

ごあいさつ



宮崎県では、とてもおいしい、特長ある農畜産物が数多く生産されています。そしてそこには、日々、額に汗して懸命に働く生産者があります。

私は、このような宮崎の素晴らしい農畜産物のことを、また生産者の一生懸命な姿を、一人でも多くの人に知っていただきたいと考えています。

これからも、生産者の知恵と工夫の結晶である宮崎の農畜産物をどうぞよろしくお願いします。

みやざきブランド推進本部 名誉本部長
 宮崎県知事 東国原 英夫



宮崎県は、日本の食料基地として冬期温暖な気候という自然の恵みを最大限に利用し、消費者の皆様安心して食べていただける農畜産物の生産に取り組んでいます。

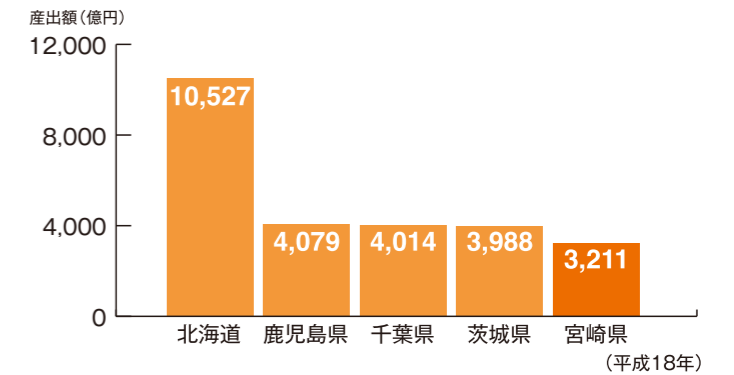
ここに御紹介するブランド商品につきましては、県内各JAの生産者が買ってくださるお客様のために、愛情と情熱を持って、安全・安心を第一に正直に作ったものばかりです。おいしくて、安全・安心な宮崎の農畜産物。ぜひ、御賞味ください。

みやざきブランド推進本部 本部長
 JA宮崎経済連代表理事会長 羽田 正治

Contents

- 1・2 ごあいさつ・日本の食料基地として
- 3・4 ブランド戦略
- 5 特長ある商品づくり
- 6 信頼される産地づくり
- 7 安定的な取引づくり
- 8～14 商品のご紹介

宮崎県は全国第5位の農業産出額を誇っています。

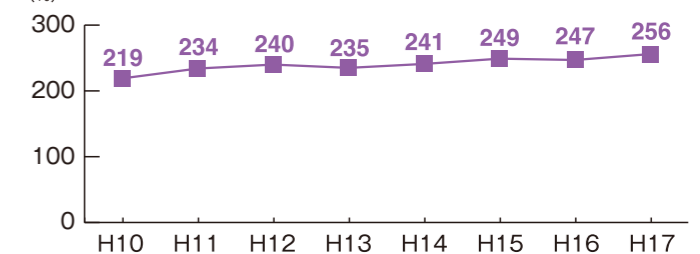


宮崎県は全国の食卓に農畜産物を届けています。

(年) 品目	宮崎県(単位)	全国(単位)	全国に占める割合	順位
(平成18年) ピーマン	29.5(千トン)	146.5(千トン)	20.1%	2
(平成18年) 秋冬さといも	18.7(千トン)	174.3(千トン)	10.7%	2
(平成18年) きゅうり	59.5(千トン)	628.5(千トン)	9.5%	2
(平成19年) 茶(荒茶)	3.8(千トン)	94.1(千トン)	4.0%	4
(平成19年) 葉たばこ	3.8(千トン)	37.8(千トン)	10.1%	2
(平成19年) プロイラー	1,808.6(万羽)	10,528.7(万羽)	17.2%	2
(平成19年) 豚	901.1(千頭)	9,759.0(千頭)	9.2%	2
(平成19年) 肉用牛	277.8(千頭)	2,806.0(千頭)	9.9%	3

日本の食料自給率は低下し続けています。
 私達には、消費者の皆様へ
 安全安心な農畜産物を届ける責務があります。

■宮崎県の食料自給率(生産額ベース)
 (%)



宮崎県は「情熱みやざき産地取り組み宣言」を
 全国に発信し、日本の食料基地として、
 真に信頼される産地となります。

1. 生産活動の一つひとつに責任を持ち、食の安全確保を徹底します。
2. 消費者の皆様安心して食べていただけるよう、適切な生産情報の提供に努めます。
3. 地球環境を守るために、環境に優しい資源循環型の農業を推進します。
4. 食と農の距離をより身近にするため、みやざきならではの食育活動を進めます。
5. 顔の見える取引により、食卓へお届けするまで、責任のあるパートナーシップを大切にします。